

岩瀬成子さん・青柳碧人さん インタビュー

読書の葉

No.150

田園調布学園
中等部・高等部
図書委員会



岩瀬さん



青柳さん

私たち図書委員は、岩瀬成子さんと青柳碧人さんにインタビューをさせていただきました。お二人の作品を「小学校の頃に読んだ!」という人も多いのではないのでしょうか。

岩瀬さんには書面で、青柳さんには書面・対面でインタビューをしました。お二方ともお忙しい中、早く引き受けてくださいました。過去に読んだことのある人はその時を思い出しながら、読んだことのない人は想像をふくらませながら、インタビュー記事をお楽しみください。これをきっかけに本にも手を伸ばしていただければ嬉しいです。

目次

岩瀬成子さん・青柳碧人さんインタビュー	p 1
ざつくり館内案内	p 6
GUESS WHO	p 8
尾木直樹先生 オーサービジット	p 10
ホントの本との一期一会	p 12
図書館今日のごころ／編集後記	p 16

岩瀬成子さん

1950年、山口県生まれ。聖母女学院短期大学の聴講生として児童文学を学び児童文学作家として活躍している。1978年に『朝はだんだん見えてくる』で、第11回日本児童文学者協会新人賞を受賞してデビュー。1995年、『ステゴザウルス』、『迷い鳥とぶ』の2作により、路傍の石文学賞受賞。『うそじゃないよ』と谷川くんはいった』で小学館文学賞・産経児童出版文化賞受賞。2008年に『そのぬくもりはきえない』で日本児童文学者協会賞を受賞。2014年に『あたらしい子がきて』で野間児童文芸賞・JBBY賞・IBBYオナーリスト賞を受賞。2015年に『きみは知らないほろろがよい』で産経児童出版文化賞大賞を受賞。2021年に『もうひとつの曲がり角』で坪田譲治文学賞を受賞するなど多くの賞を受賞している。

青柳碧人さん

1980年、千葉県生まれ。早稲田大学教育学部卒業。早稲田大学クイズ研究会出身。千葉市の学習塾にて学習指導、教材開発を担当するかたわら執筆した『浜村渚の計算ノート』で、2009年、第3回「講談社BUBU」小説部門を受賞してデビュー。一躍人気となり、シリーズ化される。『へんたて』シリーズ(ハヤカワ)、『ブタカシ』シリーズ(新潮文庫 ReX)、『西川麻子』シリーズ(文春文庫)、『玩具都市弁護士』シリーズ(講談社タイガ)、『綾菊あやかし算法帳(実業之日本社)』など。2020年、『むかしむかしあるところに、死体がありません。』で本屋大賞ノミネート。数学を題材とした小説や本格ミステリなど、様々な作品を手掛けている。

岩瀬成子さん

岩瀬さんは最近坪田譲治文学賞を受賞され、話題になりました。

なぜ作家になったのですか

児童文学作家の今江祥智さんの講演を24歳のときに偶然聴きました。そこで初めて現代児童文学の新しさ、面白さを知りました。そのあと今江さんが教鞭を執っておられた大学の聴講生になって、児童文学を勉強しました。そのころから書くことに関心を持ちはじめ、同人誌にも参加して、物語を書くようになりました。自分を作家だと思うようになったのは、だいぶあとのことです。

何歳ぐらいから物語を書いているのですか

24歳ごろからです。最初の本『朝はだんだん見えてくる』が出版されたのは26歳のときです。この本が自分にとって最初で最後の本になると思っていました。そのあと、幸いなことに出版社からの依頼があって、そこで初めて作品を書くということを意識しはじめました。

子どもを描いている話が多いですがなぜ「子ども」に注目されているのでしょうか

子どものとき、自分は大人が考えているような子どもではない、と思っていました。大人は、生まれてからそれほど年数がたっていない人間に対して、なにもわかっていないと考えているようだ、と感じていて、そのことを不満に思っていました。子どもであるとはどういうことだったのか、ということを考えていると、どうしても子どもを主人公に設定した物語になっってしまうがちです。

物語を書くときに意識していることはありますか

いま自分が関心をもつて考えたいと思っていることについて、力をつくして書きたいと思っています。

かいつくして書いているのですか

自宅の仕事場です。

物語を通して、伝えたいメッセージ

とはどのようなことですかとくにメッセージは込めていません。読者が読み進んでくださるなかで、読者の方がそれぞれの思いを巡らせたり、その方にとって

切実な事柄について考えてくださるきっかけになればいいな、と思っています。読み終えたときに、ひとつの時間をくぐり抜けたなと思ってくだされば、うれしいです。

『まつりちゃん』の物語アイディアはどこから得ているのですか

ひとりの女の子の存在が頭に浮かんで、その子は幼いけれど、そしていろんな人の助けを得るかもしれないけれど、生きていく力がある、と考えました。そして、助けられているはずの子どもが、もしかしたら、まわりの人になにかしらの力を与えている存在になっている、そういうことがあるのじゃないか、と書きながら考えました。



『まつりちゃん』
岩瀬成子
理論社

最近読んで面白かった本は何ですか

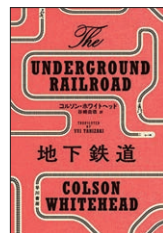
江國香織さんの『彼女たちの場合は』など次の本です。



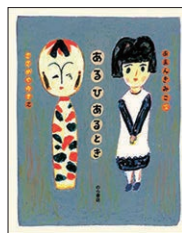
『彼女たちの場合は』
江國香織
集英社



『冬の日誌』
ポール・オースター
柴田元幸訳
新潮社



『地下鉄道』
コルソン・ホワイトヘッド
谷崎由依訳
早川書房



絵本『あるひあるとき』
あまみきみこ・文
ささめやゆき・絵
のら書店

中高生に読んで欲しい本は何ですか

人によって、好きな作家、好きなジャンル、好きな表現方法があうので、だれか好きな作家に出会うことが、本を好きになるきっかけになるかもしれません。本は、読めば読むほど、読んでいない本、読みたい本がどんどん増えていきます。無限の広がりがあります。

青柳碧人さん

青柳先生には、書面と対面の両方でインタビューをさせていたいただきました。本校の印象についても伺いました。

—書面インタビュー編—
なぜ作家になったのですか

昔から文章で表現するのは好きで、高校時代から漠然と「小説を書いて仕事にできたら」とは思っていました。同時に演劇も好きだったので、一時期は俳優を目指していたのですが芽が出ず、二十代の後半から本腰を入れて小説を書き始め、はれて29歳のときにデビューできました。

何歳ぐらいから物語を描き始めたのですか

本当に初めてのことを振り返れば、小学二、三年生のときに童話を書いていました。

中学の卒業式で卒業生代表として答辞を読むことになり、行き詰まったときに「架空のデータラメな中学時代をつづったフィクションの答辞」を書きました。これが小説めいたものを初めて書いた経験だと思えます。

高校時代も短いものはいくつか書いていましたが、創作活動の中心は、所属していた演劇部の脚本づくりでした。初めての長編小説は、24から25歳の頃に書いた、高校生のクイズ研究会を題材にした青春もので、これはのちに大幅改稿を経て『双月高校、クイズ日和』として講談社から出版されました。



『双月高校、クイズ日和』
青柳碧人 講談社

普段はどうで書いているのですか

環境を変えないと書けないので、午前中はカフェや、最近ではカラオケボックスの「オフィスプラン」というのを利用して書いています。午後は自宅とは別に借りている仕事場で執筆し、資料を読んだり、映画を見たりしています。夕方に帰宅し、子どもと遊んで寝かしつけてから、深夜までその日やり残した分を少し書きます。

物語を書くときに意識していることはありますか

浜村渚シリーズでは、「中学生に

理解できないことは大半の大人は理解できない」と思っています。なので、知らない世界の話でも中学生時分の僕がわかるだろうかというように考えながら書いています。また、飽きっぽい読者を飽きさせないように、というのも意識しているところです。できるだけ早く「面白そう」と思ってもらえるように早い段階でひと盛り上がり作ることを意識しています。

中高生に読んで欲しい本は？

僕自身のことを思い返すと、高校の頃は宮本輝さんが好きでした。今書いている作風とは全然違う、純文学系を読んでいたんです。というわけでジャンルに関わらずいろいろ読んでほしいです。また、エンタメでもお仕事小説は、逆に「大人ってこういうもの」という先入観を得てしまいかもしいないので、僕はあまり勧めないですね。それより等身大の青春小説か、ちよつと未来の話、大学生のキャンパスライフを書いた小説なんか面白いかと思います。

ミステリだと米澤穂信さんの古典部シリーズとか、似鳥鶏さんの市立高校シリーズとか、初野晴さ

んのハルチカシリーズなんかはオススメです。あとは、椎名誠さんの『胃袋を買いに』『土星を見るひと』などは日常に侵食してくるファンタジーというような感じで面白いです。

また、「文芸誌を一冊買って、読み切ってみる」というのは一つの選択肢として面白いのかなと思いました。雑誌というのは読んで字のごとく「雑多な原稿を集めた刊行物」のことなので、いろんな作家さんのいろいろな原稿を読むことができます。読み切りもあれば連載の一部もあったりして、みんな作風が違い、みんな最新作です。

今まで読んだことのないタイプの作品でも「あ、これ好きかも」と発見できるかもしれません。

—対面インタビュー編—
本校の印象はいかがですか

僕の通っていた学校と全然違うね。僕の学校はすごく古くて、石造の校舎だったから、今日は来てみてここは美術館みたいな学校だなと思います。図書館もオススメの本のコーナーがあって気合が入っているなど。

アイデアの元はなんですか

デビュー作の時は、数学の授業中に出た質問を小説で答えるイメージでやっていました。デビュー4年目くらいまでは塾の先生をやっていたからその経験をもとに書いていたのですが、専業になつてからは塾の生徒からのヒントがなくなつたので、本を読んできて面白いなと思つたことやこれなら面白く書けるなというトピックを探して書いています。きっかけとなつたのは「こんなこと(数学)やつて何になるんだ」という生徒からの質問で、それに対する答えとして書いたのが『浜村渚の計算ノート』という作品です。

本を書くときに参考にしている本はありますか

初めはエアハルト・ペーレンツの『5分でのしむ数学50話』からネタを拾って書いていたので、毎回読み返しています。この本は第一巻からずっとお世話になっています。



『5分でのしむ数学50話』
エアハルト・ペーレンツ作/鈴木直訳
岩波書店

キャラクターをどう生かしているのですか

この人何考えているんだろうというタイプの人を出すときは、本人の視点じゃなく、他の人に語る方がよいです。その人の視点になるのではなく、その人以外のキャラクターから不思議な人を語らせる方が、よりミステリアスさが増すのではないかと思います。逆に、内側でいろいろ考えているけれど行動に出せなかつたりしてお喋りじゃないキャラクターは内側から書いた方が面白いかもしれないですね。

浜村渚はどうやって生まれたのですか

渚は、塾をやっていた頃の生徒が見た目も何もかもモデルになっています。『浜村渚シリーズ』の他のキャラクターたちも当時同じ塾の子がモデル。もともと塾では社会が担当でしたが、数学至上主義の塾だったので採点を手伝っていたところ、渚のモデルとなった子の解答だけがなぜそうなったか理解できない解き方をしていたんです。キャラクターとして面白く気になつたので、数学を扱う小説を書くことになつたときに探偵役に

するのは彼女しかいないと決まりました。

なぜミステリを書いているのですか

わかりやすいものじゃないと自信がないから。話があつて、オチがあつてというのでないと不安になるから。そうじゃないものを、自信を持って書いている人は凄いです。

もともと数学が専門ではなかつたのですか

もともとは社会科が専門でした。だから数Ⅲ・Cのような専門的なものは全然わからないです。もし理系の道に進んでいたら今のような小説を書いていなかつたでしょう。数学の門外漢だから書ける書き方をしていると思うので、結果的には良かったかなと思います。

新しいシリーズを書くときどう考えているのですか

話数によつて話の流れを考えて、第何話でこういう面白いことをしようなどと考えます。次はキャラクターで、何歳ぐらいでどんな職業かなどを書き出してそこから話を考えます。

読書感想文や作文を書くコツはありますか

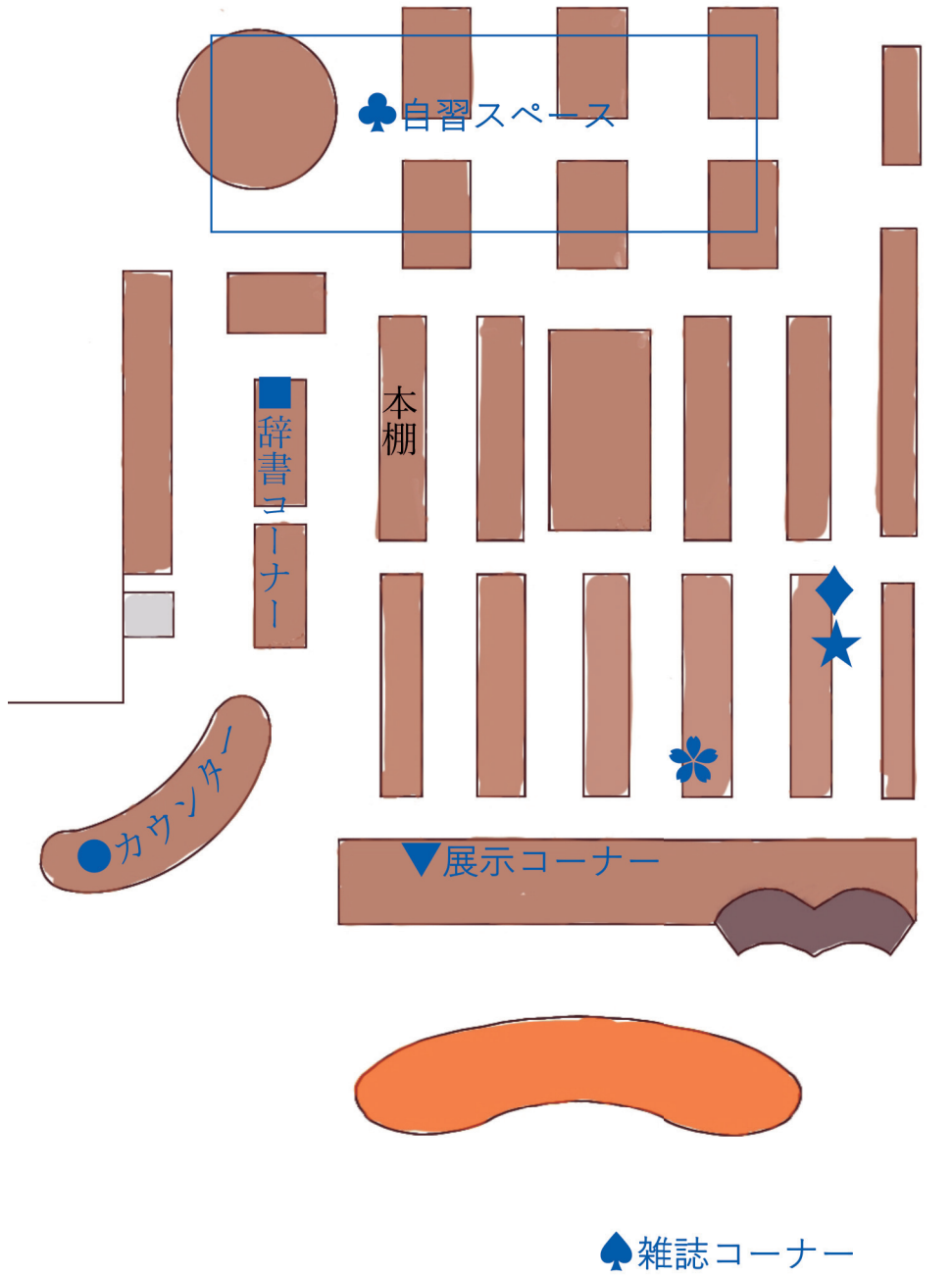
まずは、ここが感動のしどころかなというところを見つけて、そこから逆算して書くのがいいと思います。ここが中心だということを見つけるのがよいでしょう。



インタビューの様子



ガラス窓





蔵書数は約3万6千冊。一階の書庫もあります。蔵書はすべてインターネット上で検索可能です。予約もできます。
<http://www.lib-finder.net/chofugakuen/>
吹き抜けと、緑が見える大きな窓が開放的な空間です。



●カウンター

2冊2週間を基本に貸し出しをしています。図書委員や司書が常にいるので尋ねたいことがあったら、気軽に話しかけてください!

♣自習スペース

集中して勉強できる自習スペースは57席。その中には、友達と一緒に勉強のできる丸テーブルもあります。

*中央には、学習体験旅行や一日校外学習などで訪れる場所に関する資料が置いてあるので調べ物の際に活用してください。

▼展示コーナー

司書による季節や行事、社会問題に合わせた展示を行っています。図書館に来た際は、是非見ていってください。

♠雑誌コーナー

『ダ・ヴィンチ』『大学への数学』『月刊 Piano』など多種の雑誌が置いてあります。新聞(5紙)もここにあります。

■辞書コーナー

百科事典や英和辞典などがあります。調べ物の際にはまず確認!

✳学園ゆかりのコーナー

ここでは、校内刊行物の「葦」・「理科通信」・「花筐」をまとめた合本や先生や卒業生が執筆した本があります。

◆漫画コーナー

日本語の漫画はもちろん、英語の漫画もあります。

『はたらく細胞』『A PEANUTS BOOK』(スヌーピー)などもあります。

★英語の本のコーナー

様々なレベルの本が置いてあります。自分が読めそうな本を探して、英語の勉強に読んでみてください。『ハリーポッター』シリーズや『Wonder』などがあります。

GUESS WHO!

-Our Teachers in The Youth-

2021

質問

- ①今の自分と似ているところ
- ②趣味
- ③学生時代の部活、興味をもっていたこと
- ④なぜ先生になったか
- ⑤愛読書、または最近読んだ本

A



①得意なことは熱心にやるのでとんとん得意になるが、苦手なことはとことん苦手であること。細かいことはあまり気にならないこと。

②手芸。小学生の頃はフェルト人形、中学生の頃は編みかけの物体、高校生の頃はレース編みが家中に溢れかえっていました。今は自分が身につけるものは自分で作ることが多いです。

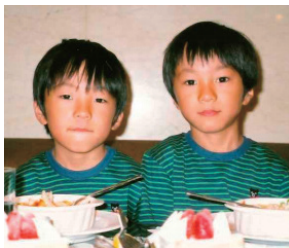
③中学校では卓球部に入りましたが上達せず、新しく出来た合唱部でアルトの人数が足りなかつたので入部することになり、そのまま高校、大学と合唱部に所属しました。今でも歌うと声が裏返ってしまうためカラオケが出来ません。

④学生時代から教育関係の仕事に就

こうと思っており、それならば生徒の成長が著しい中学・高校の先生になろうと思いました。日々若い生徒と接すると若い気持ちのままでいられます。

⑤『嵐が丘』エミリー・ブロンテ著
主人公のヒースクリフとキャサリンの恋愛観がとても日本人と異なるので是非、読んでほしいです。当時のイギリスの情景描写も素晴らしいです。

B



右は双子の弟

①マイベイスなど。小さいころからのんびりしていました。虫捕りが好きで、捕まえた昆虫を飼っていました。今も生き物が好きなどころは変わっていません。

②釣り。魚も好きなので、最近熱帯

魚を飼育し始めました。

③中学・剣道 高校・映画研究会で短い映画を制作 大学・バンドサークルでギター

④高校の時の顧問の先生にお世話になり、そのような先生になりたいと思ひ、教師になりました。素直で元気な生徒の皆さんに出会えてよかったです。

⑤『ダレン・シャン』ダレン・シャン著
ファンタジー小説で、小学生か中学生の時にワクワクしながら読んでいました。

C



①小さい頃と今と結構違いますが、笑うのが好きなどころは同じです。

②ずらりと音楽です。フルートの練習をしていますが、うまくいかず落ち込むこともあります。片思いもいつかは成就する！と信じてオーケストラ活動も継続しています。

D



③吹奏楽部、文芸部、地学部、オーケストラ、柔道部のマネージャー（勧誘され、ふらふらと入ったのですが、激務につき一年間のみ勤めました。）
 ④母の勧めと、自分自身でも人と関わるのが好きだなと思ったので。生徒の皆さんから毎日素敵な笑顔とエネルギーをもらえ、こんなにいい職業はないと思っています。
 ⑤中等部の皆さんへのおすすめ
 『氷点』三浦綾子著 『アルジャーノンに花束を』ダニエル・キイス著
 『西の魔女が死んだ』梨木香歩著
 本が苦手な人でもどンドン引き込まれます。
 『平安男子の元気な！生活』『平安女子の楽しい！生活』川村裕子著 古文が楽しくなります。高等部の皆さんへのおすすめ
 『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？』山田真哉著 『ゾウの時間ネズミの時間』本川達雄著

E



①見冷靜に見られるが短気なところ
 ②静かなところに旅行してボーっとしていること
 ③大学・オーケストラでトランペット
 ④小学生の時に海外での生活を経験し、通っていた現地校と日本の学校の違いに驚き、教育に関心を持つようになった。責任は重いが、生徒たちの成長に関わっていいところ。
 ⑤『夜と霧』ヴィクトール・E・フランクル著 『未来をつくる言葉』ドミニク・チェン著
 『人新世の「資本論」』斎藤幸平著
 『ポストコロナ期を生きる』内田樹編

①しっかりとせうなのに意外と聞
 抜けなところがあると、よく言わ
 れる

F



②ドライブ、任天堂スイッチのリングフィット
 ③中学・高校・サッカー部
 ④大変実行の良い生徒だったが、ある先生のおかげで自分を变えようと深く反省したことがきっかけで、その先生のように人に寄り添える人間になりたいと思ったから。
 ⑤『天の光はすべて星』フレドリク・ブラウン著

① I still like to try new things. I was and am still very adventurous.
 ② I'm interested in books but I tend to buy more than I can read.
 My hobby is going out and exploring nature.
 ③ Almost everything but studying. I liked being around people that were different from me, other cultures and languages were always very interesting to me too.
 ④ I guess it all started when I was a Disney cast member. I used to teach classes for new cast members and I was a trainer for many years.
 There have been a lot of good things. I really like to see students reach their goals and I like to think I may have had a little to do with it.
 ⑤ I have a lot of books but I think *Feed* by M.T. Anderson has an important message and a certain truth that we are most likely going to have to face one day if we don't gain some form of self control.



生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生

生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生
 生 生 生 生 生

「尾木直樹先生と語る」 「オーサー・ビジット」



2020年11月12日、「尾木ママ」の愛称で幅広い世代に愛される尾木直樹先生が「オーサー・ビジット」の活動として、本校で講演会をしてくださいました。「オーサー・ビジット」とは朝日新聞の読書推進企画であり、子どもたちに人気の本の著者が全国各地の小学校・高校に訪れて特別授業を行うというものです。本校の図書委員会が中

心となって応募用の色紙を作成したところ、大変光栄なことに、尾木先生ご自身に全国各地から寄せられた色紙の中から本校の色紙を選んていただき、「この「尾木直樹先生と語る」という会が実現しました。



応募する際に送った色紙。当時高等部2年生だった図書委員が中心となって作成。イラストを担当したのは、

当日は尾木先生が実際に講演する講堂だけでなく、会議室、プラザ、なでしこホールにライブ配信がされ、保護者の方も合わ

せておよそ600人が聴講しました。

講演では尾木先生自身のご経験や日本の教育に対する考え方を話してください、また事前アンケートに書かれた生徒の悩みにも真摯にお答えくださいました。

講演会後に寄せられた生徒の感想文（一部読みやすさのため改変）には

「大学受験の話を知ると、自分の入れる大学がどこかにあるのだろうかと焦りが募っていたが、尾木先生の話を聞いてすっきりとした気分になった。」

「今を輝く」という尾木先生の座右の銘が印象的だった。自分のなりたいものが明確でなく、ずっと悩んでいたのでこの言葉を聞いて、自分が今何をすべきなのかが分かった気がした。」

「普段進路の相談をする親や先生以外の視点からの意見が得られて、自分の進路を見直すきっかけとなった。これからはより広い視野でものごとを見るようにしたい。」

といったような声が多く寄せられ、多くの生徒が尾木先生の講演によってカタルシスを感じている様子がかがえましました。

その他にも、

「質問したかったことが聞けなかった。」

「もっとたくさんお話が聞きたかった。」

という声もあり、尾木先生もまだまだ話し足りないといった様子でしたので、是非また尾木先生のお話を聞ける機会を設けたいと思う所存です。

尾木先生らしいユーモアも交えながらの、大変和気あいあいとした雰囲気な講演会となりました。



(「フェイスシールドは髪が乱れるから困るのよ」という第一声で会場を沸かせた尾木先生。どこか緊張気味だった会場の雰囲気が一瞬の間に和やかな雰囲気になりました。)

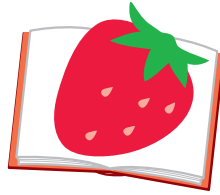
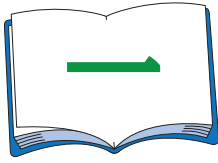
また、尾木先生は何度も本校の生徒を褒めてくださいました。それを聞いて本校が好きになった、本校の生徒であることが誇らしく思えるようになったという人も見受けられました。

尾木先生
ありがとうございました！



講演会の最後には図書委員からお礼に花束が贈呈されました。





エルマーは女の子だった!?



『「エルマーのぼうけん」
をかいた女性ルース・
S・ガネット』
前沢明枝

福音館書店
2015年発行 175ページ
本体価格：2000円＋税
ISBN：978-4-8340-8193-0

289

ま

「エルマーのぼうけん」を知っていますか。これはエルマーという少年が竜を助けに行く物語で、世界中の子どもに愛されている本です。作者のガネットさんはアメリカ在住の元気なおばあちゃん。勇気や行動力がある性格はエルマーそっくり。22歳の時、「エルマーのぼうけん」を発表して大成功しましたが、作家の仕事は続けませんでした。いったいなぜなのでしょう。物語に登場する島の名前やリュックサックにも秘密があったなんて、驚きです。

(松井)

おとなになるって？



『空へのぼる』
八束澄子

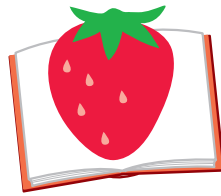
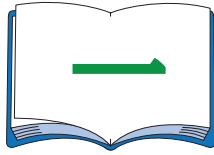
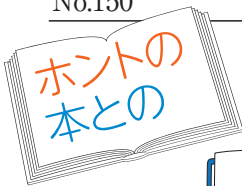
講談社
2012年発行 197ページ
本体価格：1300円＋税
ISBN：978-4-06-283224-3

913

ヤ

両親に捨てられた乙葉は、姉の桐子とおばあちゃんとの3人家族。15歳年上の桐子は女庭師として働いており、桐子の彼は、大木を専門に切り倒す空師と呼ばれる仕事をしています。小学5年生の乙葉は、自分はどんな人のお腹から生まれてきたのか悩んでいます。そんな折、学校であった「いのちの授業」と、姉の妊娠。「お母さんもがんばったけど、みんなもがんばって自分の力でこの世に生まれてきたんだよ」(63ページ)。生命力がみなぎる一冊です。

(二井)



人と動物が生きるって
どういうこと？



『モンキードッグの
挑戦 野生動物と人間の共存』
あんずゆき

文溪堂
2015年発行 141ページ
本体価格：1300円＋税
ISBN：978-4-7999-0161-8

600
あ

モンキードッグは作物を荒らすサルを追いはらうため、訓練された犬のことで。特別な犬種ではなく、その土地でふつうに飼われている犬が仕事をしています。長野県大町市で取り組んだモンキードッグ作戦は、駆除では解決しない害獣問題を考え直し、生み出されたものです。作戦ができた理由、人間と野生動物との暮らしについてわかりやすく説明されています。さあ、モンキードッグの登場でサルは山に帰るのでしょうか!?

(松井)

こんな生き方もある。
世界は広い



『ヤノマミ』
国分 拓

新潮社（新潮文庫）
2013年発行 375ページ
本体価格：710円＋税
ISBN：978-4-10-128191-9

389
こ

ヤノマミとは、^{おく}アマゾンで、^{むかし}昔ながらの独自の文化と風習を1万年近く守り続けている種族の名前です。この本は、ヤノマミ族といっしょに暮らした日本人が書いた本当の話です。森に生き、精霊を信じ、男と女が恋をします。そこには死と生があります。常識とは何か、生きるとは何かを自然に考えさせられます。読み終わると「アハフー アハフー」という笑い声が頭の中にこだまするかもしれません。※「アハフー」はヤノマミの人びとの笑い声。

(二井)

P.12～15の8冊は、この本で
私たちが書評を書いたものです。



これは幸運の女神？
または悪魔の手先？



『笑う化石の謎』
ピッパ・グッドハート(著)、
千葉茂樹(訳)

あすなろ書房
2017年発行 287ページ
本体価格：1500円＋税
ISBN：978-4-7515-2876-1

933
グ

物語の舞台は、今から150年以上
前のイギリス・グランチェスター
村。13歳のビルは貧しい家を助
けるため、「コプロライト」と呼
ばれる、化石の採掘現場で働き始
めました。ある日、採掘場の溝に
落ちたビルは、薄暗い土壁に、に
んまりと笑う不気味な化石を発見
します。これをきっかけに、ビル
のまわりでさまざまな事件が起
こります。一体、化石の正体は？
グランチェスターは実在の村です。
当時の暮らしや化石資源への熱気
も伝わってきます。

(松井)

本がたくさんありすぎて何を
読めばいいかわからない。

そんな時は本のコンシェルジュ司書と
司書教諭のおすすめ本をどうぞ。
0から9まで分類順に掲載。

わが部、入部者
おことわり!?



『ぼくたち
負け組クラブ』
アンドリュー・クレメンツ(著)、
田中奈津子(訳)

講談社
2017年発行 255ページ
本体価格：1400円＋税
ISBN：978-4-06-283247-2

933
ク

小学6年生のアレックは本に夢中
になり過ぎて、読書禁止を言い渡
されます。なんとかして本を読み
たいアレックは放課後に「読書ク
ラブ」をつくりました。自由に好
きなだけ本が読めるように。ただ
し、ほかの人が入部して邪魔され
ないよう、特別な名前も考えまし
た。ところが、アレックの予想を
裏切って、クラブは孤立していた
子どもの居場所になっていきます。
物語に登場する本は現実にあるも
のばかり。リストつきで、つぎに
読む本にも困りません。

(松井)

都内の司書たちでつくった本が
出版されました。
書店・オンラインでも買えます。



なるにはブックス別巻
『学校図書館の司書たちが選ぶ
小中高生におすすめの本 300』
(ペリかん社・2017)



なるにはブックス別巻
『もっとある！学校図書館の司書
たちが選ぶ小中高生におすすめ
の本 220』
(ペリかん社・2020)

何をいつ、どう、
誰が教えるか



『母と娘のホルモン Lesson』

吉野一枝

メディカルトリビューン
2014年発行 147ページ
本体価格：1300円＋税
ISBN：978-4-89589-436-4

495

ヨ

作者は産婦人科医で、^{りんしょう}臨床心理士
でもあります。女性ならではの性
の悩みや健康を知るならこの一冊
です。「いくつになっても自分で
知ろう、守ろう、女性の体」が合
言葉。今はインターネットでいく
らでも情報は入手できますが、正
しいものばかりとは限りません。
日本は先進国といわれますが「女
性の健康」という点ではまったく
先進国ではありません。緊急避妊
^{きんきゅう ひにん}薬もなかなか一般には承認されな
いこの国で、どう健康を守るか。
親子でともに読みたい本です。

(二井)

誰も取り残さないために、
あなたは何を？



『ヒマラヤに 学校をつくる』

カネなしコネなしの僕と、
見捨てられた子どもたちの挑戦』

吉岡大祐

旬報社
2018年発行 217ページ
本体価格：1400円＋税
ISBN：978-4-8451-1554-9

372

ヨ

1976年生まれの著者は、^{しんきょうし}鍼灸師
の免許を得てネパールに渡り、貧
しい人を相手に無料で治療を行
います。そのうち、子どもの教育支
^{えん}援活動の必要性を感じ、小学校を
つくるのです。子どもたちは貧し
いだけでなく、社会に根強く残る
カーストの中で、最下層にいる子
もたくさんいます。そんな子ども
が教育によって新しい「いのち」
を吹き込まれていくようすは感動
的です。「誰も取り残さない」活
動を地道に行う一人の日本人を^{おつ}応
援したい、と思わせる本です。

(二井)

図書館今日のごろ

▽なでしこ祭

昨年10月に行われた「なでしこ祭」で、図書委員会では、オススメの本の紹介・図書館ツアーを実施しました。プラザに面したガラス窓全体に大きな木を作り紹介カードを葉っぱに見立てて、展示しました。ヨナス・ヨナソン著 中村久里子訳『国を救った数学少女』や雪舟えま著『ナニユクたちの星座』など約50冊を紹介しました。

▽高校生直木賞

5月30日にオンラインで行われ、今年『雲を紡ぐ』と『オルタネート』の史上初の二作同時受賞となりました。この賞は、直木賞を全国の高校生の視点から選ぶものです。参加してみれば、本を介して自分とは何なのかが見えてくると感じ、読書の奥深さを知ることができました。



▽図書委員の「これを読め！」

『美少年探偵団』シリーズ
著：西尾維新 出版：講談社



十年前一度見た星を今でも探している少女、瞳島眉美が校内で噂されている謎の集団、美少年探偵団に星を探してほしいと依頼するところから物語が始まります。美少年好き、ミステリー好きの方におすすめです。アニメ化もされました。

『52ヘルツのクジラたち』

著：町田そのこ
出版：中央公論新社



家族に人生を支配されていた主人公、三島貴湖が小さな海辺の町である男の子に出会います。題名の意味を考えながら読むと、より楽しめる作品です。本屋大賞受賞作。

『推し、燃ゆ』

著：宇佐見りん
出版：河出書房新社



「推しが燃えた。ファンを殴ったらしい。」

推しがいる人にとっては身近に感じることでできる作品です。推しているアイドル、タレントなどがいる方は、ぜひ読んでいただきたい一冊です。芥川賞受賞作。

『これは経費で落ちません!』

著：青木祐子
出版：集英社オレンジ文庫



イーブンな経理の森若沙名子は、彼氏がいなくとも完璧な生活を送っていますが、一枚の領収書から予想外なトラブルに巻き込まれていきます。ミステリー要素もあり、人間関係のストーリーもあり、楽しんで読んでいただける本です。ドラマ化もされました。

編集後記

今回は岩瀬成子さん、青柳碧人さんのお二人にインタビューさせていただきました。他には「GUESS WHO」や図書館紹介、尾木ママのオーサービジット特集もまとめました。コロナウィルスの流行の影響で思うように取材をしたり話し合ったりできませんでしたが、メールでのインタビューなどを通していろんな方に興味を持ってもらえるように努めました。これを読んでも本は楽しいと感じてもらえたら嬉しいです。今年度は3月にも発行予定です。楽しみにしていてください。

職員動向

2020年9月～2021年3月
吉田さやか司書勤務

2021年4月～
松井由記司書 産休・育休より
復帰しました。

編集部